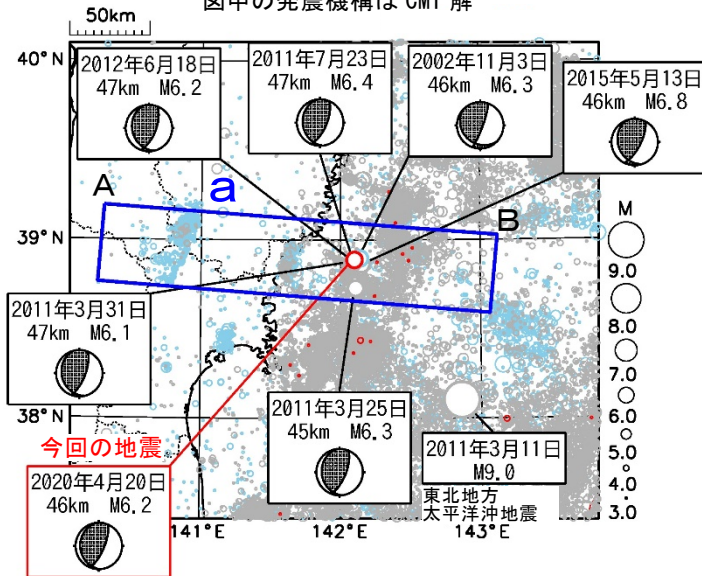


4月20日 宮城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年4月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を青色○、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色○、
2020年4月に発生した地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

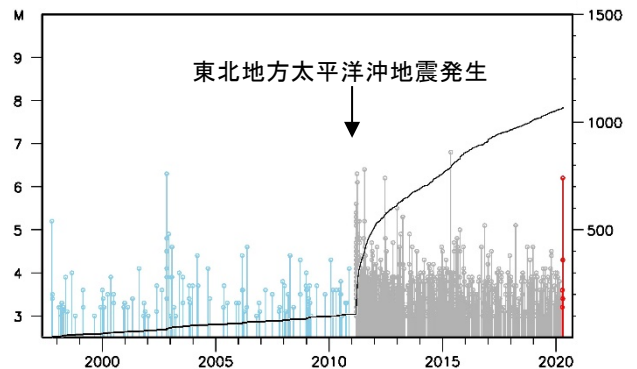


2020年4月20日05時39分に宮城県沖の深さ46kmでM6.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

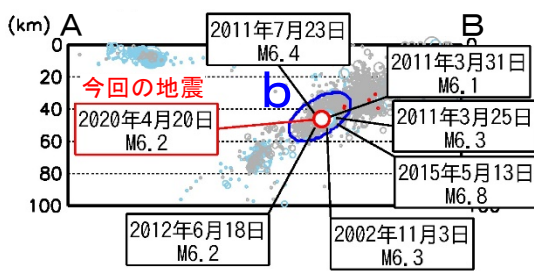
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、東北地方太平洋沖地震)の発生以降に地震活動が活発化し、M5.0以上の地震の発生回数が増加した。2015年5月13日にはM6.8の地震(最大震度5強)が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では東北地方太平洋沖地震のほか、1978年には「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震がしばしば発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



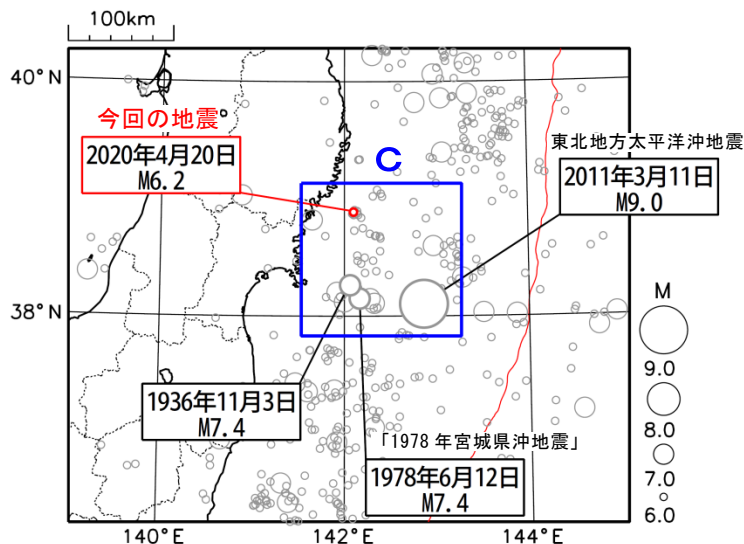
領域a内の断面図(A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2020年4月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2020年4月に発生した地震を赤色○で表示



領域c内のM-T図

